

氷壁技術訓練(白老・山北沢の滝)

平成25年2月11日

参加人数11名

CL藤木(晴)、SL小山内、近藤、沢田、相馬、藤木(た)、鈴木、小川、長沼、佐藤、渡邊
山行行程 7:00 幌別駅西口 8:00～8:30 森野ホロケシナイ駐車場 9:20 山北沢の滝
9:20～10:20 氷壁登攀準備 10:20 ピッケル・アイゼンによる登攀訓練 12:40 昼食
13:10 雪山における滑落防止訓練 14:00 下山 14:35～15:00 森野ホロケシナイ駐車場
途中入浴 16:50 幌別駅西口

私は滝と聞き、滝を見たいことと、訓練の見物でもと思いつつ参加。
昨日までの疲れが尾を引きそうな体調で家を出る。訓練に必要な
装備は持ち合わせていないのでなぜか心配。

森野ホロケシナイの駐車場で今あるもので装備したものの、
ヘルメットを忘れてきた。やっぱり見物かと思いつつ駐車場を
出発し滝に向かう。道ははっきりと人の歩いた跡があり迷う
ことはない、聞くとところによると、この滝は有名で滝を見る地元の
ツアーが昨日あったらしい。小川のそばを丸太の橋を渡ったり、
渡渉したり意外と楽しい、川には小石の上に雪が積もりマシュマロのよう
になっていて目を楽しませてくれる。そのうちに滝に着いてしまった。

滝は氷壁ができ透きとおるような青でとても美しかった。
私は、他の会員が訓練の下準備をしている間に、昼食用のツェルト
張りをすることにした。みんなの気持ちがあったのか上手く張れたと思う
(思うのは私だけか?)。

訓練の準備が出来、指導員による雪山におけるピレーの仕方や
氷壁の登坂について指導を受けた。会員の氷壁の登り下りを見て
意外と難しいように思えた(素人の私の主観的見方)。見ているうちに
私も挑戦してみたくなった。ヘルメットを借りて私もすることに、いざ氷壁に
アイゼンもアックスも振るが氷は固くささらない。下からアドバイスの声
が聞こえ、「アックスは支点が大切、アックスは脇を締め、アイゼンともに
凹凸を見ながら平行に打ち込む、体は壁から離して周りが見えるように」
の声が何度か飛ぶがうまくいかない。やっとのことで何とか登ることが
出来、下りはロープにつながれ安心して降りることが出来た。

午前中の訓練が終わりテントで昼食、中は暖かく眼鏡が曇りながらも
美味しく昼食をいただきました。

午後から滑落停止訓練、急斜面に滑り台を作りアイゼン装着時における
ピッケルによる安全な滑落停止。指導を受けた後、一人ひとり滑り台で
滑落停止、私も雪まみれになりながら練習するが意外とうまくいかない。
滑るだけなら簡単で楽しい。でも止めなければ、何度か挑戦しているうちに、
上手になっていくのが分かる。これも練習あるのみと悟った。午後の訓練も
時間となり後片付けをして下山。

帰る途中、虎杖浜温泉の湯につかり楽しくも辛かった(?)、3日間の
疲れを取り帰路に着きました。リーダ、指導員の皆様ありがとうございました。

記録 渡邊



楽しい雪原散歩



登坂訓練



模範登攀



滑落停止訓練